

I 推計結果

1 目的

本推計は、教育行政上の諸施策を企画立案するために必要な基礎数値を得ることを目的とし、昭和 31 年度から毎年実施している。

本年度は、令和 7 年度から令和 19 年度に至るまでの 13 年間の推計を行った。

2 概要

(1) 公立小学校児童数

公立小学校児童数は減少し、本年度実数である 597,722 人に比べて、令和 11 年度には 74,421 人減の 523,301 人となる見込みである。令和 19 年度には、本年度実数に比べて、148,605 人減の 449,117 人となる見込みである。

ア 区部では、本年度実数である 395,512 人に比べて、令和 11 年度には 47,897 人減の 347,615 人となる見込みである。令和 19 年度には、本年度実数に比べて、93,157 人減の 302,355 人となる見込みである。

イ 市町村部では、本年度実数である 202,210 人に比べて、令和 11 年度には 26,524 人減の 175,686 人となる見込みである。令和 19 年度には、本年度実数に比べて、55,448 人減の 146,762 人となる見込みである。

(2) 公立中学校生徒数

公立中学校生徒数は増加し、本年度実数である 234,928 人に比べて、令和 11 年度には 3,890 人増の 238,818 人となる見込みである。令和 19 年度には、本年度実数に比べて、52,320 人減の 182,608 人となる見込みである。

ア 区部では、本年度実数である 141,493 人に比べて、令和 11 年度には 5,705 人増の 147,198 人となる見込みである。令和 19 年度には、本年度実数に比べて、28,079 人減の 113,414 人となる見込みである。

イ 市町村部では、本年度実数である 93,435 人に比べて、令和 11 年度には 1,815 人減の 91,620 人となる見込みである。令和 19 年度には、本年度実数に比べて、24,241 人減の 69,194 人となる見込みである。

(3) 公立小学校1年生数

公立小学校1年生児童数は減少し、本年度実数である96,009人に比べて、令和11年度には17,212人減の78,797人となる見込みである。令和19年度には、本年度実数に比べて、20,330人減の75,679人となる見込みである。

(4) 公立中学校3年生数

公立中学校3年生生徒数は増加し、本年度実数である79,565人に比べて、令和11年度には1,570人増の81,135人となる見込みである。令和19年度には、本年度実数に比べて、16,638人減の62,927人となる見込みである。

(5) 出生数（各年度4月1日から3月31日までに生まれた幼児数）

出生数は、昭和47年度以降減少傾向が続いた後、平成8年度からほぼ横ばいに推移した。その後、平成18年度から増加傾向が続いたが、平成28年度に再び減少に転じた。今後は、同様の傾向が令和7年度まで続いた後、横ばいの傾向となる見込みである。